



地上げにおける暴力的な行為の防止に関する請願

2023年6月22日

港区議会議長

鈴木たかや様

(請願者)

内藤治郎

(電話)

(請願の趣旨)

地上げに際し、深夜又は執拗な訪問、恫喝、長時間の居座りその他迷惑や不安を覚えさせるなど暴力的な行為を、区が許容しない姿勢にあること。その方針によって暴力的な行為の抑止を期待したい。

(請願の理由)

港区白金台5丁目で昨年7月から、暴力的な地上げが行われてきた。この有様は、4月3日、NHK・クローズアップ現代、6月7日、テレビ朝日(・・住民悲鳴)で取り上げられた。同番組によれば、この地上げを主導したのは、大阪に本店があり東京にも支店を有する不動産会社であるという。警察は、事件として扱っていない。

宅地建物取引業法により不動産業者は、宅建業免許を通じて国土交通大臣又は都道府県知事の監督の下、高いコンプライアンスが求められている。宅建業法では宅地や建物の売買等で不動産業者に威迫や執拗な勧誘等があれば、営業停止等の規定(65条, 47条の2、施行規則)もあるが、このケースで問題になった建物の入居者への暴力的な迫立ちは、宅建業法の適用外で法の不備を突いている。

港区においても地上げは、特に1980年代後半のバブル期から盛んに行われてきた。中には、かなり強引な手法もあったことは否めない。人口推計(総務省)によれば、道府県の人口が減少している中、東京だけは昨年、人口増に転じている。また、今年に入って東京23区の新築マンションの価格が高騰している。このような情勢から今後、港区でも再び地上げが活発になることも考えられよう。

地上げにおける暴力的な行為について、港区が、改めて許容しない姿勢であれば、デベロッパーへの強いメッセージとなり、暴力的な行為の抑止につながるものと考え、本請願書を提出した次第です。

1/1



紹介議員

榎本 茂 風見利男

新藤 加菜

根本 中子

白石 さこ美

福島 宏子